

他院で「気のせい」と診断されたが、原因はヘルペスです。

## 「若年性特発性関節炎と言われて」匿名希望 11歳

2017年5月12日

8才の5月、大型遊具で遊んでいて2m上から落ちる。

整形外科の診断は全身打撲、左足首捻挫。それから小学校の体育などは見学、鍼灸や整体に通いよくなってきたと思っていた1ヶ月後、顔、両手足がパンパンに腫れる。

びっくりして府立病院を受診する。

血液検査、眼の検査などをし異常はなかったが先生に触診されている時、娘はどこも触られても「痛い痛い」と言っていた。

それで大人の膠原病にあたる「若年性特発性関節炎」と診断され、これから長く付き合っていくかなければならないと医師に告げられた。

また、医師には血液検査に悪い数値は出ない「若年性特発性関節炎」もあると言われた。

とりあえず全身痛がるので痛み止めのコントロールを処方され様子を見る事になった。

1ヶ月間コントロールをのんだが痛さは改善されず顔、両手足の腫れがまじくらいで、身体はだるく左耳も聞こえにくく自律神経失調症で絶不調だったそれに突然両眼の視野が狭くなり物が見えにくく

なって、夜に救急病院に駆け込んだ事もあった。  
しかし検査の結果は何も悪くなく、医師には  
「気持ちのせい」と言われた。

8月、血液検査では異常ないので西洋医学では  
もう治らないと思い、以前から調べていた  
松本医院を受診した。

松本医院で血液検査をしたら娘のヘルペスの  
数値は高かった。

松本先生は娘に悪さをしているのはヘルペスと  
言われ、先生が娘に握手しながら「絶対治る  
からな。でも一番の薬は自分の免疫カヤで」と  
何度も力強く言ってくださった。

ホームページで先生のお考えに納得しているのが  
本当にココに来て良かったと心から思った。

それから8ヶ月程、処方していただいた漢方薬と  
ヘルペスの薬のみ、松本医院で鍼灸を受けたり、  
近所の鍼灸に通ったりして痛みも不調もなくなった。  
そして、大型遊具から落ちて以来休んでいたバレエ  
も通えるようになった。

現在11才「若年性突発性関節炎」の症状は出て  
いません。

松本先生、大変お世話になりました。ありがとうございました。